

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成26年3月6日 (2014.3.6)

【公表番号】特表2013-518244(P2013-518244A)
 【公表日】平成25年5月20日 (2013.5.20)
 【年通号数】公開・登録公報2013-025
 【出願番号】特願2012-549374(P2012-549374)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/50 D

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 J

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月15日 (2014.1.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

哺乳動物の雌における胚着床に対する子宮内膜受容性を検出するための方法であって、
 a) 前記哺乳動物の雌からの子宮内膜液試料中のプロスタグランジン E 2 (P G E 2)、
 プロスタグランジン F 2 アルファ (P G F 2)、およびこれらの組み合わせからなる群
 から選択されるプロスタグランジンのレベルを決定すること；ならびに
 b) 前記子宮内膜液試料中の前記プロスタグランジン P G E 2 または P G F 2 のうち少
 なくとも 1 つのレベルが基準試料との関係において増加するときに、前記哺乳動物の雌を
 、胚着床に対して受容性があると同定すること
 のステップを含む、前記方法。

【請求項 2】

哺乳動物の雌が女性である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

P G E 2 および / または P G F 2 のレベルを、タンデム質量分析と組み合わせた、液
 体クロマトグラフィーによって決定する、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

基準試料が、前記雌から前記雌の不妊性期中に得られた子宮内膜液試料である、請求項
 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

基準試料が、前記哺乳動物の雌の集団から前記雌の不妊性期中に得られた子宮内膜液試
 料である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

子宮内膜受容性を増強することができる化合物を同定するための方法であって、
 (i) P G E 2 および / または P G F 2 産生細胞を、試験対象の化合物と接触させるこ
 と；ならびに
 (i i) 前記 P G E 2 および / または P G F 2 のレベルを決定すること、

を含み、ここで、前記化合物が、前記細胞による前記 P G E 2 および / または P G F 2 の産生の増加を引き起こす場合、前記化合物は、子宮内膜受容性を増強するのに適している、前記方法。

【請求項 7】

避妊薬を同定するための方法であって、

(i) P G E 2 および / または P G F 2 産生細胞を、試験対象の化合物と接触させること ; ならびに

(i i) 前記 P G E 2 および / または P G F 2 のレベルを決定すること、
を含み、ここで、前記化合物が、前記細胞による前記 P G E 2 および / または P G F 2 の産生の低下を引き起こす場合、前記化合物は、避妊薬として適している、前記方法。

【請求項 8】

プロスタグランジン E 2 (P G E 2) のための基準脂質および / またはプロスタグランジン F 2 アルファ (P G F 2) のための基準脂質を含むキット。

【請求項 9】

哺乳動物の雌における胚着床に対する子宮内膜受容性を検出するための、または哺乳動物の雌における胚の着床ウィンドウを選択するための、または哺乳動物の雌の妊娠状況を評価するための、または哺乳動物の雌が胚を受容し着床するのに適した条件下にあるか否かを評価するための、または哺乳動物の雌における子宮内膜の成熟をモニタリングするための、または哺乳動物の雌における体外受精の方法における、請求項 8 に記載のキットの使用。